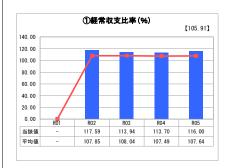
経営比較分析表(令和5年度決算)

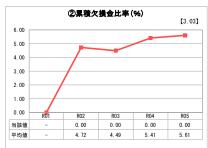
熱岡県 食士食市

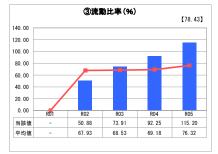
MINN =- 11 11				
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
_	74. 15	54. 45	71. 85	1. 947

ᄱᅅ	面積(km²)	人口密度(人/km²)
128, 169	389. 08	329. 42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)

1. 経営の健全性・効率性

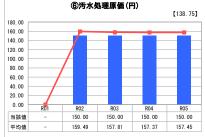


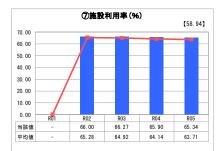


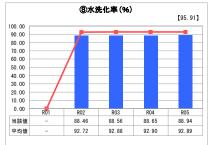




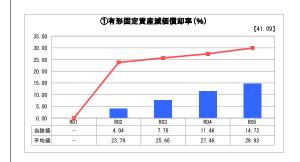


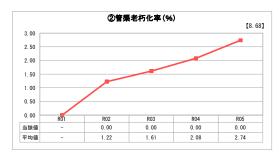


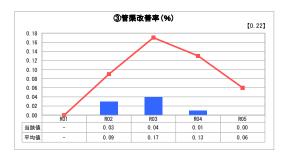




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

1)経常収支比率

100%を上回っており良好ですが、経費回収率が低 く、使用料以外の収入に依存している部分が大きいた め、費用削減と使用料収入の増加に努める必要があり

②累積欠損金比率

累積欠損金は生じていないため、0.00%です。

③流動比率

現金預金の増加と流動負債における企業債償還金が

減少しているため、改善しています。 ④企業債残高対事業規模比率

類似団体平均および全国平均より高い数値ですが、 企業債残高の減少と今後の投資規模から見て、下がる

見込みです。

5経費回収率 100%を下回っており、不足分は一般会計からの繰入 金で賄っているため、適正な使用料の確保と汚水処理

費削減に取り組む必要があります。 ⑥汚水処理原価 類似団体平均と比べて低い数値にあり、良好な状態

です。引き続き、汚水処理費の削減に努めます。 7)施設利用率 類似団体平均と同等の数値です。将来の人口減少を

踏まえて施設規模を検討していく必要があります。

類似団体平均に比べて低く、水質保全と使用料収入 の増加を図るため、戸別訪問の強化と一層の普及促進 のための啓発活動に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率

令和2年度より地方公営企業法を適用したことか ら、類似団体平均及び全国平均より低い数値と なっていますが、今後は増加していく見込みで

②管渠老朽化率

供用開始からの経過年数が40年であり、法定耐 用年数を経過した管渠がないことから低い数値で すが、今後、更新時期を迎える管渠が増加するこ とから計画的な改築更新を実施していく予定で

③管渠改善率

法定耐用年数を経過した管渠がなく改築率は低 いですが、今後は下水道ストックマネジメント計 画に基づく修繕改築計画を策定し、優先度に応じ た改築を実施していく予定です。

全体総括

富士宮市では昭和45年から公共下水道事業に着 手、昭和57年に供用開始し、管渠延長は約324kmに 達しています。

今後、人口減少等による下水道使用料収入の減 少が見込まれるため、経営戦略に基づき、施設の 維持管理経費の削減に努め、適正な使用料収入の 確保のために水洗化率の向上に取り組む必要があ ります。また今後、下水道施設の老朽化対策の費 用が増加するため、各施設の改築計画を策定し、 効率的に改築更新を実施していく予定です。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。